

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		福津市地域交通体系協議会
開催日時		令和7年5月26日（月）14時00分～16時00分
開催場所		福津市役所 別館1階大ホール
委員名		<p>(1) 出席委員 永松靖二(川野一代)、池田舞、塩川浩一、保井享、紺屋良治、高瀬徹二、富松享一、蒲生守、山口尚志、高橋祥之(瀧上大輔)、矢加部忍、鈴木裕介、中村一枝、小島恵(百田幸子)、長野健二、大庭武志</p> <p>(2) 欠席委員 吉住信哉</p>
所管課職員職氏名		<p>(都市整備部都市計画課) 市長 : 福井崇郎 都市計画課長 : 安永紳一郎 都市政策係長 : 福原雄貴 都市政策係 : 三船浩史</p>
会 議	議 題 (内 容)	<p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくつミニバスの令和6年度の実績について</li> <li>・ふくつミニバスの路線変更について</li> <li>・ふくつ乗合タクシーについて</li> </ul> <p>○その他</p>
	公開・非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	2名
	資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回福津市地域交通体系協議会 次第</li> <li>・資料1 ふくつミニバスの令和6年度の実績について</li> <li>・資料2 ふくつミニバスの路線変更について</li> <li>・資料3 ふくつ乗合タクシーについて</li> </ul>
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

○市長あいさつ

福井市長による挨拶。

○委嘱状の交付

福井市長による委嘱状の交付。

○会長の互選

会長：鈴木裕介委員、副会長：中村一枝委員

○会長あいさつ

鈴木会長による挨拶。会議録の確認。協議会成立宣言（16名中15名出席）。会議公開の了承（傍聴2名）。オブザーバー紹介（福岡県交通政策課井上様）

○報告事項

・令和6年度の実績について

<事務局説明>資料のとおり説明。

< 質 疑 >

蒲生委員 バス停シェルターにベンチを設置できないか。また暗いバス停には太陽光を電源とした照明を設置できないか。ベンチや照明等をひとつのパッケージとして整備してはどうか。

事務局 パッケージ整備や既存バス停の改良など、利用者の利便性を主体として整備していく方向性で考えたい。

会長 利用者数の目標はバス乗車定員上達成可能か。

事務局 1便当たり2名程度増加で達成できるため概ね可能。ただし、現在も時間帯によっては定員オーバーが発生している路線がある。

会長 令和2年度以降の利用者増はコロナ禍後の回復とも思えるが、コロナ禍前の利用者数は。

事務局 コロナ禍前の平成31年度は約93,000人の利用者数。

会長 人口が増加している福津市にあって、約20,000人の減少は深刻ではないか。

事務局 コロナ禍に代替交通手段を確保されたと推察され、その方々を再度ミニバス利用に戻すのは非常に難しい。利用しやすい交通体系とより一層のPRが必要となると思っている。

会長 コロナによる利用減少もあるが、これからは他の原因の検証や前向きな検討を進めないと、今後の回復が見込めない。WAON決済の利用データを取っているのだから、この辺りに議論の余地はある。

○審議事項

・ふくつミニバスの路線変更について

<事務局説明>資料のとおり説明

< 質 疑 >

会長 津屋崎線の1便、7便のバス停について、WAON決済の利用データをみると、利用がないバス停が多数あるが存続は必要か。

- 事務局 津屋崎 1,7 便の主な利用者は勝浦小学校までの登下校で利用する児童であり、途中のバス停の利用は少ないが、運行路線上のバス停として存続させている。
- 会長 時刻の調整で各便の出発時間を合わせていると説明があったが、鉄道との乗継時間を合わせた方が良いのでは。
- 事務局 鉄道との乗継時間に大きな差がある場合は調整しているが、乗務員の休憩時間や運行路線、勝浦小学校の登下校時間に合わせているので、難しい面はある。

< 採 決 >

全会一致で可決。

- ・ふくつ乗合タクシーについて

<事務局説明>資料のとおり説明

< 質 疑 >

蒲生委員 運転手の確保は問題ないか。

事務局 運行事業者と協議した上での事業計画である。

蒲生委員 5時台の運行があるが、人数の想定はできているか。

事務局 西鉄バスの IC カード利用実績では 2 名程度いる。勝浦郷づくりで聞き取りした際も高校生が通学で利用していると聞いている。

蒲生委員 乗車する人が特定できているのであれば、個人的な補助、例えばタクシー券等で対応も検討できたのでは。

事務局 今後の改善案とさせていただく。西鉄の廃線が決まり、期限が決まった中で、勝浦方面の公共交通を確保するため早急に検討した結果である。交通計画に記載している通り、新たな交通モードや地域間の連携なども含め、引き続き検討していく。

会長 現在の利用者の代替交通を確保するのは大切だが、恒久的につづけていくのか。

事務局 今回の対応は緊急対応に近いもの。定期的に見直しが必要と考えている。

山口委員 特定の人だけの交通になると福祉的な交通のように聞こえ、ニュアンスが違うのではないかと思う。

事務局 新たに導入する利用者の一例としてあげたままで、五反田や津屋崎の利用も見込まれる。ただ正確につかみ切れていないというもの。

会長 路線廃止により生活が維持出来なくなるのは、対応しなければならないが、今回利用が見込まれている高校生が 3 年間通学利用し、それ以降は利用しないと分かれば、翌年には廃止する等、ある程度経営感覚を持って良い。

< 採 決 >

全会一致で可決。

- ・福津市地域交通体系協議会（法定協議会）開催  
（福津市地域交通体系協議会（法定協議会）会議録参照）

○その他  
(意見等なし。会議終了)

上記会議録は事務局が作成したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

福津市地域交通体系協議会

委員 \_\_\_\_\_ 印

福津市地域交通体系協議会

委員 \_\_\_\_\_ 印